

# 1 射水市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（素案）のパブリックコメントの実施結果について

## （1）実施期間

令和2年12月18日（金）から令和3年1月18日（月）まで

## （2）閲覧場所等

射水市ホームページ

窓口等での閲覧（市介護保険課、各地区センター及び中央図書館）

## （3）寄せられたご意見等

意見等の提出者数 15名

意見等の件数 23件

## （4）ご意見等の概要・ご意見等に対する考え方

No.	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正
1	全般	「KDBデータ」等一般の人には馴染みのない言葉について、略さずわかりやすく表現してほしい。	巻末に用語集を掲載し、計画書中の用語を解説します。 また、文中の用語に用語集に説明があることがわかるように明記します。	有
2	全般	計画の内容について、市民へわかりやすく情報発信してほしい。	計画の内容をわかりやすくまとめた概要版を作成し、市ホームページで公開するほか、地区センターや図書館に設置します。 また、出前講座等で計画の周知に努めます。	無
3	全般	限りある財源を有効に活用するため、在宅介護を中心に地域包括事業を推進する必要があると思う。	国が推進する地域包括ケアの方針に沿って、地域の社会資源を有効に活用しながら市民の健康寿命の延伸を目指します。	無
4	第2章 市の現状 3 アンケート調査結果の概要（P17～）	「地域共生社会」を目指すのであれば、若い世代が高齢者に対してどう思っているかアンケートを実施してはどうか。	次回、アンケートを実施する際の参考とさせていただきます。	無

No.	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正
5	第2章 市の現状 3 アンケート調査結果の概要 (P25)	どのようにして地域包括支援センターを認知したかアンケートをすれば、周知の手段が見えてくると思う。	周知の手段についてのアンケート結果を追加します。 地域包括支援センターについて、引き続き周知に努めます。	有
6	第2章 市の現状 3 アンケート調査結果の概要 (P25)	地域包括支援センターについて知ってもらうため、中学校や高校に講演会を行えばどうか。	中学校や高校での認知症サポーター養成講座の開催時に、地域包括支援センターについても紹介する等の取り組みを推進します。	無
7	第4章 施策の展開 (P51～)	基本目標1と基本目標2を統合して、介護予防と生きがいづくりを一体的に進めてはどうか。	「基本理念」の実現を目指し、全ての基本目標が相互に関連しているものでありますが、体系化することで個々の目標を明確にしています。	無
8	第4章 施策の展開 1 健康づくりと介護予防の推進 (1) 健康づくりの推進 (P51)	生活習慣病の予防について、若いうちから腰痛対策に取り組んでほしい。	腰痛の原因には、日頃の姿勢や生活習慣による筋疲労、体の歪み関係しており、運動習慣の普及啓発をさらに推進し、その中で腰痛予防の視点も取り入れます。	無
9	第4章 施策の展開 1 健康づくりと介護予防の推進 (1) 健康づくりの推進 (P53)	こころの健康に関し悩みを言い出せず、相談会に参加しない高齢者も多い。積極的に情報収集して支援をする必要がある。	悩みや問題を抱えている人は、何らかのサインを出しているとわれ、早期に気づく人材の育成として地域包括支援センター職員向けのゲートキーパー養成研修を行いました。老人クラブや民生委員、理美容組合向けにも順次開催し、引き続き地域での見守り体制の構築に努めます。	無
10	第4章 施策の展開 1 健康づくりと介護予防の推進 (2) 介護予防の推進 (P54)	地域の通いの場の参加者数が少ない。高齢者が興味を持てる活動があればいいと思う。	参加者数は、県内平均と比較し高い水準となっておりますが、引き続き普及啓発等に努めます。	無
11	第4章 施策の展開 2 社会参加の推進と生きがいの創出 (1) 交流の促進 (P55)	高齢者レクリエーション、スポーツの推進について、今時のスポーツを取り入れることで、新たな趣味が見つかると思う。	市政出前講座において「ニュースポーツ・ゆるスポーツ教室」を開催しており、引き続き誰でも気軽に運動できる機会の創出に努めます。	無
12	第4章 施策の展開 2 社会参加の推進と生きがいの創出 (1) 交流の促進 (P55)	高齢者同士、世代を超えた交流について、回覧板や広報だけでなく、車から放送して行事等をPRしてはどうか。	できるだけ多くの方々の参加につながる効果的な周知に努めます。	無

No.	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正
13	第4章 施策の展開 2 社会参加の推進と生きがいの創出 (1) 交流の促進 (P55)	世代を超えたふれあいや交流について、「孫」との行事だけでなく、「子」との交流もあると良い。	地区コミュニティセンターでは、世代交流が生まれる特色ある生涯学習事業を実施しています。引き続き地域住民が参加しやすい事業を推進します。	無
14	第4章 施策の展開 2 社会参加の推進と生きがいの創出 (1) 交流の促進 (P55)	世代を超えたふれあいや交流について、家族のいない高齢者もいるので、学生ボランティア等との交流があればいいと思う。	地域のニーズを把握し、様々な団体や関係機関と連携を図ることで、幅広い世代間交流につながるよう事業の充実に努めます。	無
15	第4章 施策の展開 2 社会参加の推進と生きがいの創出 (2) 活躍する場の確保 (P56)	シルバー人材センターの運営支援につて、シルバー人材センターと意見交換を行ってください。	引き続き、高齢者の方々の活力や技術を活かし、シルバー人材センターが持つ力を発揮できるよう協力します。	無
16	第4章 施策の展開 2 社会参加の推進と生きがいの創出 (2) 活躍する場の確保 (P56)	市民に理解しやすいように、表現を「職業安定所」を「ハローワーク」に変更するよう検討してください。	正式名称（呼称）と表記するなど、市民が理解しやすい表現に変更します。	有
17	第4章 施策の展開 4 支え合いみんながつながる社会の推進 (2) 在宅医療と介護連携の推進 (P63)	24時間365日の在宅医療・介護サービスの提供は可能か。	射水市医師会の「在宅医療いみずネットワーク」と介護事業所との連携により、24時間体制で医療・介護サービスを提供しています。	無
18	第4章 施策の展開 4 支え合いみんながつながる社会の推進 (3) 認知症の人と家族への支援の強化 (P65)	みまもりあいアプリの活用について、携帯電話やスマートフォンを持っていない人も見守り活動に参加できるようにしてほしい。 アプリのダウンロード数が増えるようPRしてほしい。	高齢者の見守りについては、行方不明高齢者の検索アプリの活用以外に、社会全体で認知症の人や家族を見守り、支援することができるようにすることが必要です。認知症を理解し、適切な対応ができるように「認知症サポーター養成講座」を地域や企業で開催していきます。また、各イベントや出前講座でのアプリの普及を推進していきます。	無
19	第4章 施策の展開 5 介護サービス基盤の充実 (1) 介護保険事業のサービス利用量の実績と見込み (P69～)	各種サービスについて、どのような体の状態だと、このサービスが適していると書いてあると良い。	サービス内容については、介護サービスを利用する方に向けた「サービス利用ガイド」を別に用意しています。本計画では、サービスの概要について説明します。	無

No.	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正
20	第4章 施策の展開 5 介護サービス基盤の充実 (3) 人材の確保及び質の向上 (P82)	「いみず企業見学バスツアー」を県全体に広げてはどうか。	実施主体である射水市雇用対策推進協議会及び県等と連携し、事業展開について検討します。	無
21	第4章 施策の展開 5 介護サービス基盤の充実 (3) 人材の確保及び質の向上 (P82)	射水市は若い介護福祉士を育てる必要がある。	県内及び近隣の教育機関と連携し、射水市奨学資金貸与事業の利用促進を図ります。	無
22	第4章 施策の展開 5 介護サービス基盤の充実 (3) 人材の確保及び質の向上 (P82)	介護人材の確保について、実際に介護職で働く人が中学校で講演会を行えばどうか。	県介護福祉士会や県老人福祉施設協議会が実施する小・中学生や高校生を対象にした出前講座や施設見学等について周知し、介護職に対するイメージアップを図ります。	有
23	第4章 施策の展開 5 介護サービス基盤の充実 (3) 人材の確保及び質の向上 (P83)	福祉用具等のアイデアを高校生に募り、福祉に興味を持ってもらえるようにしてはどうか。	全国の高校生を対象にした「福祉用具アイデアコンテスト」について、SNS等を活用して市内の高校生に周知します。	無